稲穂

小樽市立稲穂小学校
学校だより　No.7
令和　4年10月19日
文責　校長　大坂　充

【学校の教育目標】
りこうで
たっしゃで
ほがらかな
稲穂の子

稲穂小 WEB

推しは“燃える闘魂”

校長　大坂　充

朝、校門の前で挨拶をしながら子どもたちを迎えていると、いろいろと話しかけてくれる子がいます。「寒いですね。」「髪切ったんです。」とか、「昨日、〇〇へ行ったの。」など、たわいもない話ですが、私にとっては楽しい会話です。そんな中で、自分の“推し”（おし）について話しかけてくる子がいます。推しとは、主にアイドルや俳優について用いられる日本語の俗語であり、人に薦めたいと思うほどに好感を持っている人物のこと（フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』）です。その子が私に話す“推し”は、アニメのかっこいい男の子だったり、ちょっとかわいいキャラクターだったりします。その子は、推しの話になるとなかなか終わりません。私はよくわからないので、見せてもらった絵を見て、「かっこいいね。」などと率直な感想を話しています。

では、そんな私の”推し”は誰かと聞かれれば、迷わず”アントニオ猪木”と答えます。「元気ですかー！元気があれば何でもできる。」のあのアントニオ猪木です。私が初めてアントニオ猪木を見たのは、小学校に入る前、まだジャイアント馬場とタッグを組んで外国人レスラーと対決していた頃です。その後、2人が別々の団体になった後も、毎週金曜日の夜8時にはテレビの前に陣取り、猪木の試合を興奮しながら見ていました。タイガー・ジェット・シンやスタン・ハンセン、ハルク・ホーガンなどの外国人レスラーとの死闘や大木金太郎、ストロング小林、晩年には長州力や天龍源一郎との日本人対決など、常に見ている者を惹きつけるマッチメイクと期待を裏切らない戦いに胸躍らせ、中学生の私も、高校生、大学生、そして社会人になった私も変わらぬ眼差しで見続けてきました。プロレスなんてスポーツではなくショーだから、とおっしゃる方は、なぜそこまでと思うかも知れませんが、とにかく猪木が好きになり、その人生をずっと見続けてきたのです。政治家、実業家、タレントなどレスラー以外でも活躍した猪木は、引退後も闘魂ビンタや「1、2、3、ダーッ！」などのパフォーマンスでどこへ行っても人気者でした。ここ数年は、病気との闘いとなり、壮絶な闘病生活もネットで公開し、最後まで戦う姿勢を見せてくれました。

私も推しの話になると、なかなか止まりませんね。そのアントニオ猪木が10月1日に亡くなりました。私にとっても一つの時代が終わった気がしています。

今の子どもたちにも、好きなアイドルや俳優、ユーチューバー、アニメのキャラクターなど、それぞれに”推し”がいるかも知れません。アントニオ猪木が私の人生にさまざまな影響を与えてくれたように、子どもたちにとっての”推し”も、親や教師には与えることができない影響を子どもたちに与えているのかも知れません。

「この道を行けばどうなるものか　危ぶむなかれ　危ぶめば道はなし
踏み出せばその一歩が道となり　その一歩が道となる　迷わず行けよ　行けばわかるさ」
「ダーッ！」　ご冥福をお祈りします。

R4　３つの重点「わかったことや思ったことを伝えることができる」
「自分の体を知り、体力向上や健康に気を付ける」「よりよいものを作り出すために協働できる」

芸術の秋・文化の秋！

学習発表会

10月15日（土）、本校体育館において学習発表会が行われました。コロナ禍における３回目の学習発表会ですが、昨年よりも一歩前進を目指し、照明を復活させたり、バック絵をプロジェクターで投影したりと、新たな試みもありました。今年も検温・マスクはもちろん観覧は各ご家庭２名までとし、プログラムごとに入れ替えを行うなど、皆様にはご不自由をおかけしました。また、今年は学校運営協議会の委員の皆さんにご案内を差し上げました。委員からは、どの学年もそれぞれ素晴らしい発表だったとお褒めの言葉をいただきました。保護者の皆様には、衣装などでご協力をいただき本当にありがとうございました。

第８回小樽こどもの詩コンクール

10月15日（土）小樽経済センターにおいて、第８回小樽こどもの詩（ポエム）コンクールの表彰式が行われました。小樽市内の全小中学校の 4420 作品の中から選ばれた最優秀賞、特別賞、各部門の金賞・銀賞・銅賞の皆さんが表彰されました。

本校からも 287 人が応募し、中学年の部では４年２組の伊藤 智信 さんが銀賞、４年１組の後藤 あるあ さんと西 優菜 さんが優良賞、高学年の部では６年２組の滝沢ありさ さんが優良賞を受賞しました。

すすきとお月様　　伊藤　智信

すすきが風でゆらりゆらり
お月様はそれを見てうれしくて
お月様はすすきのようになりたいと
いつもおもっているようです
お月様もいつかすすきになれるよう
がんばってください

ボス川柳

北海道新聞に掲載された作品を紹介します。
（一〇月二日掲載）

部屋の中　笑いが絶えない　修学旅行
六年　池田　琵名妃

読書感想文コンクール

夏休みを利用して取り組んだ読書感想文は、校内審査を経て小樽青少年読書感想文コンクールに応募しました。その中から以下の 11 名が入賞し、さらに道の読書感想文コンクールに応募しました。おめでとうございます。

２年　田中 美帆 、吉田 美槻
　　吉田 弥生 、伊藤　環
３年　小泉 紀歩 、北村 碧都
４年　西　優菜
６年　小泉 真歩 、塚原 大海
　　高橋はな子、村上　佑

小樽音読カップ校内予選

２年間中止となっていた「小樽音読カップ」が、今年度は開催されることになりました。本選会は、11 月 12 日、小樽市民会館で行われます。本校でも校内予選を行い以下の５名が選ばれました。本選でも頑張ってください。

- 低学年の部　２年　石川　桃
- 中学年の部　３年　平岡　京
　　４年　北出　梨紗
- 高学年の部　５年　小川　愛菜
　　６年　菅原正太郎

絆づくりメッセージコンクール

いじめやネットトラブルの根絶を目指して行われている「絆づくりメッセージコンクール」において本校児童の作品が後志地区の最優秀賞と奨励賞を受賞しました。小学生個人の受賞は３人のみで、そのうち２名が本校児童でした。最優秀賞の作品は、全道に推薦されます。

最優秀賞　一言の　やさしい言葉で　守られる　５年　大野　稜登
奨励賞　大丈夫　優しい仲間は　きっといる　６年　村上　佑

R4　３つの重点「わかったことや思ったことを伝えることができる」
「自分の体を知り、体力向上や健康に気を付ける」「よりよいものを作り出すために協働できる」